

過去の自分との決別、それを可能にする上キャリア

経済学部経済学科 西野楓
(広島県立 尾道北高等学校)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか？

軽音学部に所属していましたが、ほとんど参加していませんでした。勉強面については、くだらぬ言い訳をして真面目に取り組んでいませんでした。高校の先生からは「もう少し頑張ろう」といわれ続けていましたが、やろうと思ってもその気持ちが長続きすることはありませんでした。

2. 上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

大阪産業大学へ入学することが決定した後、上級キャリアコース(以下、上キャリア)の存在を知りました。HPには、かなり厳しいコースだと書かれていましたが、もはや後がない状況であった私は覚悟を決めて参加を決意しました。今にして思えば、これが人生の分岐点でした。

3. 上級キャリアコースは厳しいのか？

厳しいと思います。例えば、「遅刻したらどうなるのですか？」という質問があったとしましょう。それに対しては、「そのような事態は想定されていない」と回答することになるのでしょうか。また、常に成果を挙げることが求められますし、成果は見える化されます。すなわち、非常に競争的な環境であり、精神的にタフでないとやっていけないでしょう。とはいえ、このような厳しい環境で仲間と共に勉学や自己研鑽に励んだからこそ、高校時代までのどうしようもない自分と決別できたような気がします。

4. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？

積極的に行動できる人だと思います。同輩に対してだけではなく、先生や先輩などに対しても積極的であることが求められます。上キャリアでは、メンバー同士で「勝手にやっておけ」という指示も多いので、積極性がないとこれに対応できないでしょう。以上から理解できるように、上キャリアにおける「やらなくても大丈夫です」や「やった方がいいです」は、「やれ」の意味ですので注意してください。

5. 上級キャリアコースの強みは？

鉄の結束力でしょうか。4年間に亘り1つの目標に向かって共に邁進するが故に、同輩間のヨコの繋がり、先輩・後輩間のタテの繋がりが強固です。それだけではなく、先生やOB・OGと学生間の繋がりも強固であり、先生方と学生もとても仲がよいです。そしてこの結束力があるからこそ、1人では突破することが難しい試練も乗り越えることができるのだと思

います。あなたが頑張る限り、上キャリアにはそれを支える先生や仲間がいるということです。

6. 担当教員の大谷教授ってどんな人？

厳しいときもありますが、常に学生のことを考えてくださっていると感ずます。口だけの「学生ファースト」はどこにでもいるみたいですが、大谷先生は真の意味での学生ファーストを実践し続けていると思います。ちなみに、大谷先生は放課後などに無料課外講義も提供してくださっているのですが、上キャリア生のほぼ100%が参加しています。参加は強制ではありませんが、HPに記されているように上キャリアは「勉強最優先」な訳ですから、受講しないという選択はそもそも論外ですよ。無料課外講義のメンバーと合宿にも行きましたが、とても楽しかったです。